

予算特別委員会 ～令和8年度一般会計予算案に対する討論要旨～

予算特別委員会では、議長を除く31人の議員が、令和8年度予算案について7日間にわたり慎重に審査しました。

インターネット議会中継のウェブサイトから令和8年予算特別委員会の様子が視聴できます。また、委員長報告と討論、議決の様子も視聴できます。

インターネット議会中継▶



●2月24日 委員長・副委員長の互選

岩崎ふみひろ委員長、高島なおこ副委員長が選出されました。

●3月9日～17日 議案審査

会計ごとに質疑を行い、審査しました。()は議案番号

一般会計(第22号)／国民健康保険特別会計(第23号)／後期高齢者医療特別会計(第24号)／介護保険特別会計(第25号)

●3月23日 委員長報告、討論、議決 (議決結果は7面)

本会議で岩崎ふみひろ委員長が予算特別委員会の審査経過と結果を報告し、各党派等の代表が、賛成・反対の立場で討論を行いました。その後、採決が行われ、令和8年度当初予算案が可決、成立しました。



高島 なおこ 副委員長 岩崎 ふみひろ 委員長

反対

過去最大予算でも暮らし支援が弱い予算案

日本共産党目黒区議団 松嶋 祐一郎 議員

過去最大の予算規模、区税収入見込みである。一方、物価高騰が長期化し、実質賃金も伸び悩む中で、区民生活は厳しさを増している。本予算案は、暮らしを直接支える支援が弱い。区は、区有施設更新に巨額の財源が必要だとしながら、再開発には多額の公費を投入している。国保料の負担軽減、シルバーパス補助、難聴者補聴器助成に踏

み出さず、生活保護追加給付も十分届く仕組みになっていない。さらに、特養整備や介護人材への直接支援、障害福祉基盤の強化、子どもの体験格差是正、給付型奨学金、不登校支援、スクールカウンセラー体制の強化も不十分である。平和都市宣言区として、自治体予算を脅かす国の軍事費拡大に物を言う姿勢も欠けている。

賛成

「心地よい」と感じられる目黒区を未来にも、将来世代にも。

立憲民主・目黒フォーラム 橋本 しょうへい 議員

今年は不安定な世界を象徴するスタートとなった。来年、区長も変わることから、区も大きな変化を迎える。私たちは予算要望や今定例会で、今の心地よさだけでなく、区の未来や将来世代に何を残すかも重視してきた。定例会冒頭に区長は「目黒区基本構想に示されたまちの将来像を実感いただけるよう、最後までベストを尽くす」

とのこと。財政基盤の確立や施策の選択と集中が重要との発言もあった。試行実施事業や終期設定事業の設定は評価するが、件数や総額は多くない。財政危機やリーマンショックも乗り越えた区長だからこそ、最後の予算編成で既存の事業の見直しもしっかり行い、区がずっと「心地よいまち」であり続ける礎を築いてほしい。

賛成

持続可能な財政運営の実現で、青木区長ラストイヤーの集大成を

自由民主党目黒区議団・区民の会 小林 かなこ 議員

本予算は過去最大規模となる一方、ふるさと納税による税収流出や社会経済情勢の不確実性により、持続可能な財政運営にはなお課題が残る。サンセット方式の導入は評価するが、事業の不断の見直しと公共施設の跡地活用を図るなど財源確保に努めること。また、昨年豪雨被害を踏まえた地域防災力の強化、防災カタログの活用

による自助意識の向上、DX推進、子ども・福祉施策の充実、都市基盤整備や教育環境の改善等、各分野における着実な施策展開を求める。旅館業法改正は生活環境の確保を最優先し、ポイ捨て防止条例は実効性の確保を求める。区長任期の最終年度は将来課題について責任ある対応を求め、我が会派は引き続き是々非々の姿勢で区政運営に臨む。

賛成

安全に重きを置いた予算編成に評価！立つ鳥跡を濁さずの1年を！

上田 みのり 議員

目黒川の桜が美しく散っていくように「さくら咲き 心地よいまち ずっとめぐろ」を美しく継承するために、命・暮らし・絆・未来を守るための、防災、健康と福祉、子ども施策、まち

づくり、そして、区有施設見直し方針・見直し計画と付随する活動団体の在り方を示し、強い責任と覚悟を持った6期集大成の行財政運営を要望する。

賛成

持続可能な区政改革に道筋をつけ、次期区長にバトンを！

めぐろの未来をつくる会(無所属・国民・維新) 松田 哲也 議員

7,500億円もの施設更新費等で、毎年100億円の歳出削減が必要だが、過去最大の身の丈を超える予算となった。新たな期間設定方式も、新規事業限定で、2033年の借金と基金の逆転は不可避で次世代の負担は増すばかりだ。リーマンショック後に、緊急財政対策と経済対策の均衡を図った際の、削減基準の差も省察し、既存事業やイン

フラ見直しに、一刻も早く着手すべきだ。同時に経営資源、とりわけ人材の最適化やDX化、災害時の備え、避難所トイレ、ペット防災も必要だ。若者施策、共同親権、住区活動、国勢調査の負担、学童待機、ベビーシッター、給食、不登校等、それぞれ大きな課題解消の取り組みも求める。そして次期区長に託すことを期待し賛成する。

賛成

積極財政で「誰もが生きてて良かった」と思えるめぐろの実現を

こいで まあり 議員

税収等の増を区民に還元しつつ86億の財政調整基金を取り崩しての積極財政、サンセット事業など期限を定めた事業の開始、DV相談支援センター開設や体験格差をなくす自然宿泊体験

教室の保護者負担軽減、障害者雇用を促進するオフィス・サポートセンター設置などを評価し、生きてて良かったと思えるめぐろの実現を期待する。

賛成

先行き不透明な時代に。大事なことは平和への行動と持続可能性

公明党目黒区議団 関 けんいち 議員

イスラエルと米国によるイランへの攻撃は、人道的に許せない行為である。力による現状変更は次なる紛争の種となるだけで、正義ではない。対話を基調とした平和外交が、最善の道である。区の予算は過去最大規模だが、それを上回る建設費の高騰や物価高の影響、さらに緊迫したイラン情勢の動向を注視し、適切な対応を求める。

今後の区有施設の在り方について、社会状況の変化や財政的課題に対応した最適な更新を図るため、真に必要な行政機能を残し、極力無駄を省いた方向に、舵を切る決断も必要と考える。来年度は区長任期最終年度となるが、現下の危機を乗り越えるため、経験則を生かしながら、最後まで全力投球することを要望し、予算に賛成する。

賛成

子どもの権利を社会全体で共有するまち、めぐろへ！

増茂 しのぶ 議員

子どもの学びは学校の内外にあり、一人ひとりに応じた形があって良い。居場所づくりとともに多様な学びを保障せよ。避難所環境は女性の意見で改善され

る。運営検討に女性参画を進めよ。戦争の絶えない今、目黒の平和都市宣言を、平和憲法を擁護する大切なメッセージとして生かせ。